

4. ベントス群集・底質の継続的なモニタリング

4.1 海洋環境整備事業(底質・底生生物調査)

国土交通省では、2004(平成 16)年度から海洋環境整備船「海輝」・「海煌」を配備し、有明海・八代海の底質・底生生物等の環境調査を実施している。

4.1.1 調査の内容・方法

海洋環境整備船(海輝・海煌)による有明海・八代海の底質・底生生物調査を実施している。調査の内容は表 4.1-1 に、調査地点は図 4.1-1 に示すとおりである。

表 4.1-1 海洋環境整備船(海輝・海煌)による底質・底生生物調査

調査名	各調査の目的	調査内容	時期
底質・底生生物調査	<ul style="list-style-type: none"> ・底質・底生生物の分布及び経年変化を把握する。 ・底質の変化と底生生物の増減との関係について把握する。 	<機器計測> 水温、塩分、DO、pH、ORP、濁度、クロロフィルa <底質分析> 粒度組成、全硫化物、含水率、湿潤密度、強熱減量、T-N、T-P、COD、クロロフィルa、OPR、TOC <底生生物> マクロベントス	年 1 回(春季) ※2004(平成 16)年度～

出典:環境省(2020)「有明海・八代海等総合調査評価委員会 第5回海域環境再生方策検討作業小委員会資料」

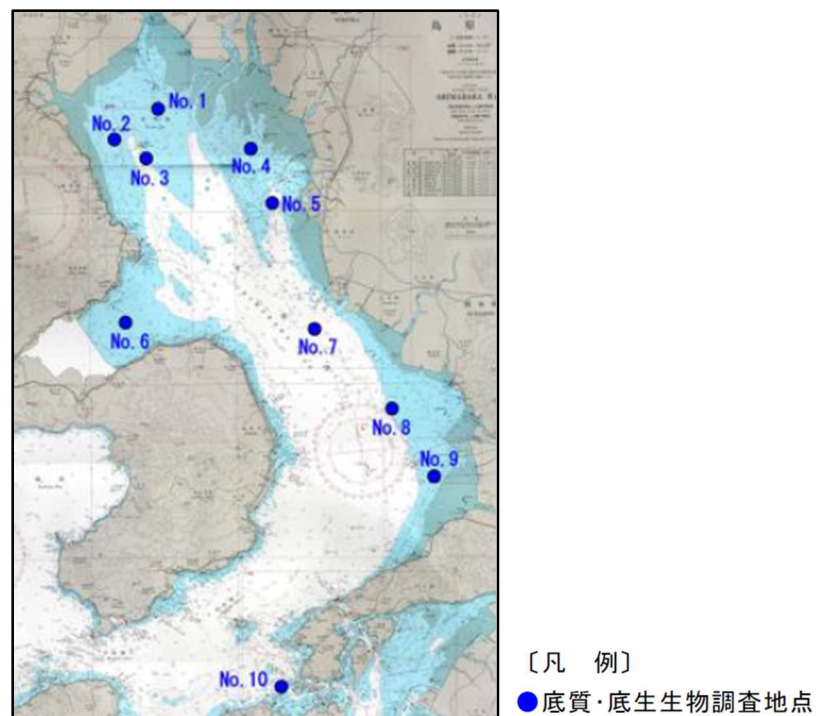


図 4.1-1 調査地点

出典:環境省(2020)「有明海・八代海等総合調査評価委員会 第5回海域環境再生方策検討作業小委員会資料」

4.1.2 底質・底生生物調査結果

有明海の底質調査結果は図 4.1-2 に示すとおりである。

有明海では湾奥の一部の地点(No.4)において、シルト・粘土分の割合が高くなる傾向が見られた。その他の地点では概ね大きな変化は認められていない。

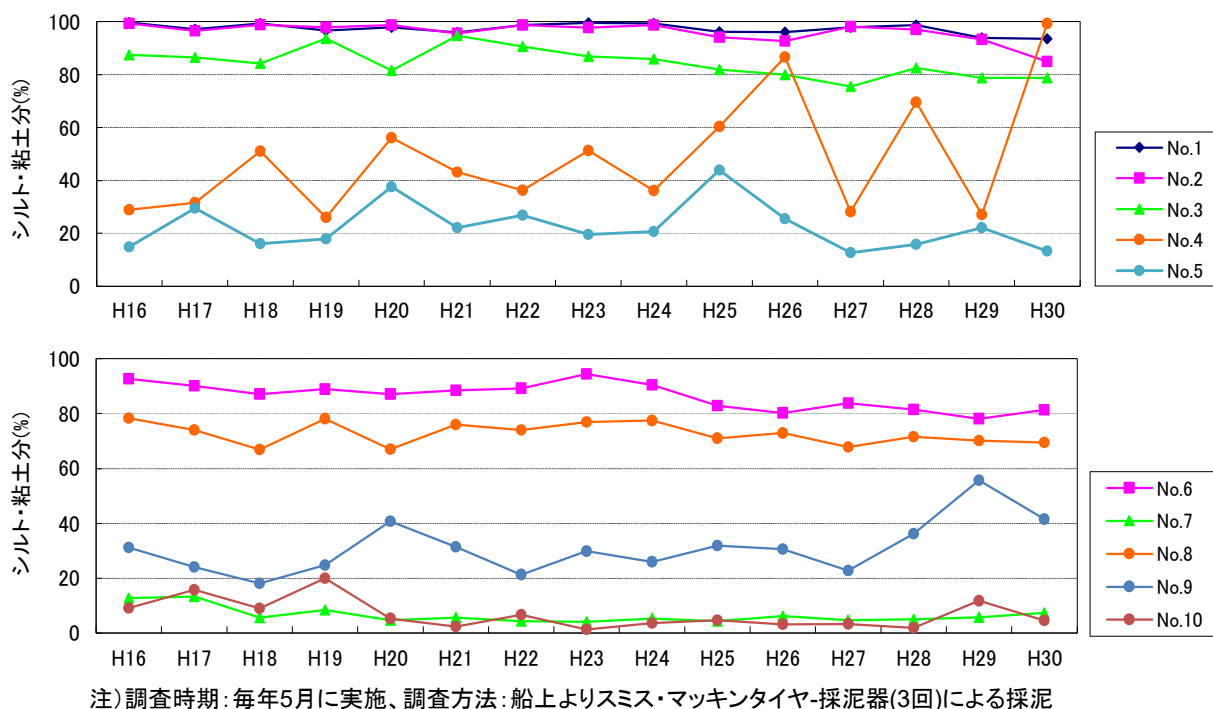


図 4.1-2 底質調査結果(有明海)

出典: 環境省(2020)「有明海・八代海等総合調査評価委員会 第5回海域環境再生方策検討作業小委員会資料」